

■ベトナム：Vinh Tan 発電所群の建設、運転開始計画を公表

地元紙によると、ベトナムの計画投資省および Binh Thuan 省はこの程、Vinh Tan 発電所群の建設、運転開始計画を明らかにした。Vinh Tan 発電所群（計画総出力 440 万 kW）はホーチミンの北東約 200km の位置し、3 つの石炭火力発電所から構成される。当局によると、第 1 発電所（出力 120 万 kW）は国営企業のベトナム石炭鉱物産業グループ（ヴィナコミン・グループ）と中国南方電網公司が出資し、2009 年中に建設を開始し、2011 年中の運転開始を予定している。また第 2 発電所（出力 120 万 kW）は EVN が出資、2013 年の運転開始を予定している。更に第 3 発電所（出力 200 万 kW）は、ベトナム電力公社（EVN）、ワンエナジー（三菱商事と香港電力大手の CLP ホールディングスが出資）および Pacific Ocean Investment & Services の 3 社が出資し 2011 年から 2015 年の間に運転開始を予定している。なお第 3 発電所は EVN と外資による IPP で、EVN 副総裁は昨年 10 月、第 3 発電所の開発はベトナムにおける電力事業のモデルケースとなる可能性もあると語っている。